

チャンドラゴーナ会報

Bangladeshの人々と共に歩む宮川医師夫妻を支える会
創刊号 (派遣祝福式号) 2005年8月27日 No.1

〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12 国際多文化共生研究所内
E-mail: Sumi3Ngo@aol.com TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632

宮川眞一医師の赴任挨拶

皆さん、こんにちは！

この度、Bangladeshのワーカーになりました宮川眞一（みやがわ しんいち）と申します。

私の故郷は愛媛県宇和島市という、かつて伊達藩の城下町、最近では「世界の中心で愛を叫ぶ」のモチーフとなった町の出身です。中学生の頃、当時JOCS ネパールワーカーの岩村昇氏が帰国の度に立ち寄られ、私の出席教会である日本キリスト教団宇和島中之町教会でも、よく講演会が行われていました。氏の語る海外医療の世界に憧れると共に、「夢を追いかける気持ちの継続が、それを叶えてくれる」という言葉に支えられ、今回やっとワーカーとして第1歩を踏み出すことになりました。

道は遠く、宇和島東高校卒業後に、医師の道を志しましたが、なかなか道は開けず、最初は関西学院神学部へ入学いたしました。そこでの私の関心事は「人の苦しみ」についてであり、専攻は組織神学を選びました。神学の学びの延長線上には医療があり、それは私の中では同じ方向に至る歩みの道であったと思います。神学の学びは奥深く、それまでの信仰を根底から崩され、再び建て直さないといけない厳しいものでしたが、在学期間に得ることができた、物の見方や経験は、今日何にも換えがたいものとなっております。又、日キ教団甲子園教会での教会生活、学部自治会や釜ヶ崎への関わり、特にアジア国際夏期学校(SIEA)を通しBangladeshで過ごした研修期間は、今回の赴任を現実のものとする原動力になっていると思います。

徳島大学医学部を卒業し、福岡徳洲会病院でスーパーローテート(複数科を回る)研修後、総合内科・心療内科・リハビリテーション科に勤務していました。心療内科は「心と身体を分けずに診る総合内科(心身医学)」で、精神科とは異なる診療科です。全人医療の実践のできる診療科目として、その姿勢は海外医療のそれと相通じるものがあると考えています。

(3ページへ続く)



赴任先の CHC 病院

宮川眞一・理世夫妻

宮川眞一（みやがわ しんいち）さん

愛媛県宇和島生まれ。宇和島東高校、関西学院大 神学部、大阪 YMCA 予備校、徳島大医学部卒業。福岡徳洲会病院勤務。大学時代に「アジア夏期学校」(SIEA)に参加、アジアの現状とその支援に共感。2005年9月よりJOCS ワーカーとしてBangladeshへ赴任。

宮川理世（みやがわ みちよ）さん

長野県飯田市生まれ。13歳より英国に滞在。カナダ・ヨーク大学、英国サセックス大学院卒業後帰国。松本市の医療機関に勤務。宮川眞一さんと結婚し福岡に在住。赴任に伴いBangladeshへ同行。

関西壮行会盛り上がる

福岡での派遣祝福式に先立ち8月20日、JOCS 関西事務局のある大阪聖パウロ教会にて、宮川眞一さんの青春時代をすごした関西で、壮行会を開催いたしました。JOCSの先輩をはじめ、教会関係、学生時代の仲間、医療関係、理世さんの友人の方々など40名を越える人たちが集い、二人を激励しました。「愛は寛容で情け深い」(宮川愛称句)の聖書朗読に始まり、参加者全員の一口メッセージで、叱咤激励から慰め、そして青春時代のエピソードまで、心温まる壮行会になりました。



支援者からの激励メッセージ(順不同・敬称略)

(スペースの関係で一部割愛・省略をご容赦ください)

先日は釜ヶ崎で思いもかけないすてきな出会いが与えられました。夢を持ち続けるお姿に、大きなはげましと喜びをいただきました。(入佐明美)

「我々の望むところ、祈り求めるものと反対のことが起こったとき我々は最も喜ぶべきである」<ルッター>(合志長生)

ずっとワーカーの準備をなさっていたのですね。バングラでのこれからの活躍を期待しています。神様の祝福が豊かにありますように。(山本眞美子)

JOC Sのミッションを思い、御夫妻共々の赴任を心からうれしく思っております。(大谷 徹)

JOC Sも発足準備時代からの会員です。神と人に仕える御働きに御聖寵を。(渡辺敏夫)

健康にご留意の上、ご活躍を祈ります。主のご加護を祈っております。(白木啓二)

私は1980年にチャンドラゴーナを訪れて以来、5~6回現地を訪れました。今後もチャンドラゴーナとの関係は続き、先生にもお世話になると思います。(辻本嘉助)

無理はなさらないで健康第一で。(小野勝正)

健康を支えられてよい働きを。(笠水寿子)

お働きをとおして神様のみ栄えが顕れますように。(柴田美代子)

主の平安。主の御守りのうちに、ご活躍されます様、お祈りしております。(佐藤正子)

お仕事が祝福され、守りのうちにありますよう祈ります。(島田 恒)

ご健康に呉々もご留意下さい。主の恵が豊かにあります様に。(日原正好)

気持ちをリラックスして、お働き下さい。アジア時間のペースにのって...(中嶋嗣美)

お体に気をつけて、お働き下さいますよう祈っています。(西山温子)

ご夫妻の安全と無事をお祈りします。(高谷泰市)

ゆっくりと相手のペースに合わせて仕事をして下さい。呉々も健康に気をつけて下さい。(加輪上敏彦)

新しい土地にゆっくりと馴染んでください。御奉仕と御生活のすべて、主が守り導いてくださいますことを信じ祈っています。(入船佐奈江)

貴いお働きを神様が支え導いて下さり、豊かに祝福を与えて下さいますように。(宇山 進)

御自愛の上御健康でお過ごし下さい。同じ医師として特別の感慨と感謝を申し上げます。(坂部慶夫)

尊いお仕事を引き受けられる決意をなさった御夫妻に敬意を表します。(立石恭子)

ウガンダの北川ワーカーを訪問して8月20日関空に着きます。バングラでの御生活を主が支えて下さいますよう祈ります。(林 律)

宮川先生のご活躍を祈っています。(太田昂治)

仕えられるためでなく仕えるために(山根貞夫)

ご加護の下所期目的を達成されますよう(岸博行)

主に在る尊いお働きに、心より敬意と祝福お祈り申し上げます。(亀井俊博)

大いなるお働きに感謝です。(神崎清一)

大変な事が多いと思いますが、頑張ってください。宮川様のご健康とご奉仕の上に主の祝福が限りなくあります様に。(中野満寿子)

当院の医療チームが11月にチャンドラゴーナに行く予定です。その時はよろしくお願いします。(淀川キリスト教病院 棕棒正昌)

気候、宗教、文化などあらゆる面で異郷の地ベンガルで働かれるドクターとご家族の上に主の祝福が豊かにありますように。(羽太英樹)

お二人の出発を心から主に感謝します。眞一さん、みちよさん、チャンドラゴーナへ行って下さってありがとうございます!(畑野めぐみ、畑野研太郎)あまり頑張りすぎないように。(村田佳隆)

信念を貫かれること、敬服しています。支援させていただきたいと考えています。(加藤宏、由子)

長い間の夢が実現されたこと、本当に神様のご計画があったのと、神様のお力と宮川さんの願いと努力と力と深く思わされています。(柿園欣子)

あの頃から今日のことを目標にしておられることを予想しておりました。心より応援します。ご苦労の多いことと思いますが、お身体に気をつけて目的を果たされますように。(村沢和恵)

宮川君念願のバングラだね。納豆のように持ち続けた夢を実現した強い思いと神様の導きが活動の上に豊かにあり沢山の恵みがありますよう。また同窓会をしましょう! Good Luck!(榎本てる子)

皆様と共にたくましい前進。(花尾道之)

健康に留意され、神様の多くの守りが与えられ、お仕事がなされますよう。(矢吹春夫、美知子)

お体に気をつけて頑張ってください。(町田英世)

ただ神の奇蹟の恵みと感謝いたします。お元気で使命をまっとうされるように。(指宿文一、明子)

夢の種を育て、育てられて数十年。いよいよその時が来たのですね。これからの労苦に主のねぎらいを日々祈っています。新たな種を蒔き育てますように。(石原順子)

お元気で活躍ください。(三宅博子)

夢の実現、おめでとうございます。20年前を思い出し健康に気をつけて頑張ってください。(松浦紀美子)

どうかご健康を「ココロザシ」を持続して下さい。祈っています。Good Luck!!(青木尚三、美詠子)

遂に夢が実現しましたね。「よきサマリア人のたとえ」のイエス様の教えを原点として使命を果たしてください。(川崎正明)

神学部を卒業してから、本当に長い道のりでしたね。しかしそれは君のミッションのスタートの立ったところですね。わずかながらのサポートをさせてもらおうと思います。(長尾文雄)

20年ほど前、キリスト教アジア国際夏期学校のメンバーに、「医者になって海外で役立ちたい」という、いつになったら実現できるかもわからないような悠長な夢を口にする、ひ弱な感じする神学生がいた。大学の神学部を出たのだから、この青年が、

初志貫徹して医者になり、海外に出向くという便りが届いた。「どこにいて、何をしても、人々の役にたつような人間になればいいんだ。わざわざ医者なんかになりやがって」と、もう一度20年前と同じ言葉を送ることで、彼の「傲慢」な生き方を、大いに祝福したい。(山田和生)

さあ、いよいよ夢がかなう時が来ましたね！
ここまでの道のりは決して楽なものではなかったと思います。3日に1度の当直勤務という厳しい研修医時代を若者に混じり乗り越え、きちんと内科ができる心療内科医としての研鑽を積まれたからには、もうこわいものはないかもしれませんね。さらに、理世さんという素晴らしい伴侶に恵まれたことは、きっと夢の実現に向けての神様から先生への最高のプレゼントだったんですね。慣れない異国の地での暮らしですが、二人三脚でさらなる夢の一步に向けて進んで行ってほしいと思います！(棕田稔朗)

めざせ、中村哲先生！(松林直)

宇和島東高等学校時代の同級生達のML上で、宮川さんのご活躍の様子・大いなる夢を伺い、少しでも応援したいと、賛同と敬意を示しており、夫婦ともに応援していきたいと思った次第です。院内で、「使用済み切手」のプチボランティアも昨年からはじめました。(中川容子)

支援・・・と言うほどには力不足ですがお祈りしていますね。(池田芙美子)

健康で事故が無く、良い働きができますようにお祈りします。(福島恭輔)

山の少ないバングラデシュの活動報告を楽しみに待っています。(浦正子)

大切なお役目ですが、体に気をつけて頑張ってください。(大坪富美子)

お働きを覚えて祈っています。チャンスがあればバングラデシュへ出掛けたいです。(西八條敬洪)
活躍を期待し祈っています。(齋藤皓彦)

長い間の思いが叶い、本当に驚きました。心からうれしくおもいます。(永江由利)

宮川君のご活躍、教室を代表してお祈りしています。(徳島大学院ヘルスバイオサイエンス研究部統合生理学分野 森田雄介)

いよいよ出発ですね。志の種を育ててこの時を迎えられることに感慨深いものがあります。小さな支えですが心からエールを送ります。(石原順子)

貴兄の不屈の意思に感服。どうかよき働きをされますように。主の恵みを祈っています。(土井健司)

私たちの教会から献身された先生に感謝します。これから何年間かのご奉仕が祝される様、ご健康が守られる様一同神様に祈っています。(宇和島中町教会・教会学校清家リツア)

お元気で活躍ください。(堀川征一郎)

この度の大役大変と思います。お身に気をつけられてのご活躍会員一同お祈りしています。(家藤梅美)

健康に気をつけて頑張ってください。(矢上裕)

夢への第1歩ですね。主のお守りのうちによき働きがなされますように。(六浦裕美)

子どもの頃からの夢がついに現実になる訳です。長い道でしたが、この年まで夢を持ち続けた事、そして努力し続けた事、本当に頭が下がります。みちよさん、あなたはあまりがんばり過ぎないで楽しくやって下さいね。最初に彼をすごく持ち上げましたが、彼は結構ええかげんな男です。でもそれが夢に向かって歩み続ける事ができた秘訣だろうと思います。(森場さとし)

(1 ページからつづき 「宮川医師の赴任挨拶」)

.....

さて、赴任地のチャンドラゴーナキリスト教病院 C H C (Christian Hospital Chandragohna) は、バングラデシュ南東部のチッタゴン丘陵地帯に1907年設立された、地域に根ざした医療活動を実施している病院で、かつて J O C S からも畑野医師・小宅医師などが赴任していた所です。多くの少数民族が暮らす同地域で、唯一緊急手術のできる病院として、医療活動のみならず看護教育や地域医療など行っています。私の役割はこの病院を拠点として少数民族の居住地を含むチッタゴン丘陵地帯での地域保健活動に従事するという事になっています。政治的思惑や宗教、民族問題などが交錯するこの地域でスタートする新しいプロジェクトに参加できる事を心から喜びに思っています。

私が、現時点で考えられることは NGOs (非政府非営利組織) のコラボレーション (共同作業) ・代替補完医療 (伝統医療) の利用、その現場に則したシステムの形成・環境調整等といった抽象的なものです。しかし、自立 (律) 性を目指し共に働く者として、そこで「何を」「どのように」実践していけるかは徐々に明らかとなっていくことと思います。是非、その場その場で、皆様の良きアドバイス・ご支援をいただけますようお願い致します。

最後に今回、妻の理世 (みちよ) も一緒にバングラデシュでの生活を始めようとしています。共働者としての家族の働きも合わせて心に覚え、お祈り頂ければ幸いです。

チャンドラゴーナ (Chandragohna)



入会案内

「チャンドラゴーナ会」は宮川眞一医師・理世夫妻のバングラデシュ南東部チャンドラゴーナでの、地域医療活動を推進するために必要な支援活動とその広報、募金活動等を行います。

二人はJOCS（日本キリスト教海外医療協力会）の派遣ですが、本会はそれを側面的に「支える会」として、運営されるものです。

本会の活動の趣旨・目的をご理解いただければ、誰でも入会できます。現地の活動を随時お知らせする会報等をお送りし、報告会・学習会など行います。会員の情報共有のためのメールマガジン(ML)「Chandra-net」を開設しています。

「チャンドラゴーナ会」の目的は、

- 1) 宮川夫妻の働きを覚え、祈りによって支え
- 2) その働きを通じて、現地の人々への理解を深め
- 3) その支援を通じて、国際医療協力に連なることです。会の運営は、ボランティアの自主運営で、事務局等を設置し数名の役員をおき、運営にかかる経費は支援会会員の会費・寄付等で行います。

どうか会の目的、趣旨を理解していただき、より多くの人たちの支援・ご協力をお願いいたします。

チャンドラゴーナ会 発起人（順不同・敬称略）

白井 進 日本基督教団福岡女学院教会牧師
松岡順之介 JCMA（日本キリスト者医科連盟）
福岡佐賀部会長
白浜 雅司 三瀬村国民健康保険診療所医師
松林 直 福岡徳洲会病院 副院長
中井 吉英 関西医科大学心療内科学講座教授
村上 公彦 アジア協会アジア友の会専務理事
榛木 恵子 (特活)関西 NGO 協議会事務局長
錦織 一郎 (財)大阪 YMCA 総主事
中嶋 野花 (財)神戸 YMCA 総幹事
長尾 文雄 (社)好善社理事
池住 義憲 国際民衆保健協議会日本事務所代表
二ノ坂保喜 バングラデシュと手をつなぐ会代表
角 正信 国際多文化共生研究所代表

*支援会発足のために、今までの宮川さんの足跡を知る関係者を中心に、教会・病院・NGO等の幅広い層の人たちが発起人として、呼びかけに加わっていただきました

関西連絡所

〒657-0031 兵庫県神戸市灘区大和町1-2-11
日本基督教団神和教会気付 森哲牧師
TEL :078-851-6671 YRS04137@nifty.com

愛媛連絡所

〒791-0245 愛媛県松山市南梅本町甲58
医療法人中川病院 中川泰範理事長、容子気付
TEL 089-976-7811 (代) FAX 089-976-7979
youkonak@juno.ocn.ne.jp

北海道連絡所

〒083-0046 北海道中川郡池田町字東台586
TEL 01557-2-5396 森場さとし気付
Mori-ba@cyber.ocn.ne.jp

派遣元:

(社団) 日本キリスト教海外医療協力(JOCS)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-33
TEL 03-3208-2416 FAX 03-3232-6922
<http://www.jocs.or.jp> info@jocs.or.jp

活動内容

現地活動支援、報告会・学習会等開催、会員募集、会報作成・印刷・発送作業・IT関連管理等

年会費（会計年度 7月1日～翌年6月30日）

原則派遣期間3年間（以降継続可能性有）

- ・会 員 3,000 円
- ・賛助会員 一口 1,000 円
- ・学生会員 一口 1,000 円
- ・維持会員・団体会員 一口 10,000 円

会費・ご寄付の送金方法

1) 郵便払込 郵便振替口座 01750-7-77534

加入者名：チャンドラゴーナ会

2) 銀行振込口座

東京三菱銀行福岡支店 普通預金 2121511
チャンドラゴーナ会代表角正信(スミ マサノブ)

会費以外の寄付・献品も随時お受けします。

本会では、JOCS が長年行っています「使用済切手」「使用済プリペイドカード」収集のほか、事務的活動支援として会報印刷用紙、書き損じのハガキ・未使用切手のご寄付等も併せてお願いします。

現地病院住所（2006 年前半からの予定）

Christian Hospital Chandragohna (CHC)
Chandragohna-4531, Rangamiti Hill Tracts,
Bangladesh
TEL: 800-31-6350044 / Ext-11

2005 年末までの連絡所（首都ダッカで語学研修）

Doeru Guest House
House #10(3F), Road #8, Sector #3,
Uttera Modeltown, Dhaka, Bangladesh
Tel: 880-2-8921156



JOCS の先輩であるベシャワール会中村哲医師(中)に挨拶、激励を受ける宮川眞一医師(左)と角正信世話人代表(右)

編集・発行：チャンドラゴーナ会事務局

「バングラデシュの人々と共に歩む
宮川医師夫妻を支える会」

世話人代表 角 正信(すみまさのぶ)

〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12

国際多文化共生研究所内

E-mail: Sumi3Ngo@aol.com

TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632